

一足早く稲刈り体験・富士見小

9月14日（火）、富士見小学校（近藤徹校長）の3年生から6年生66人が、学校田で昨年より11日も早い稲刈りを体験しました。

稲刈りには、JAつがるにしきた鶴翔支店神販売指導課長と地域の農家の方々が指導にあたりました。

今年初めて稲刈りを行う3年生たちは、初めて持つかまを手に恐る恐る刈っていましたが、慣れてくるにつれ一株ををまとめて「ザクッ」と刈ることができました。

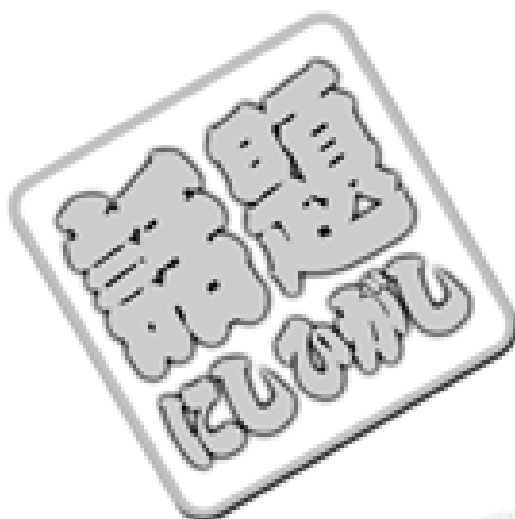
また、稲刈りが今年で4年目になる6年生たちは、慣れた手つきでかまを扱い、刈り取り作業を楽しんでいるようでした。



手際の良さが目立つ上級生



今年は豊作のようで、児童たちも思わずニコリ



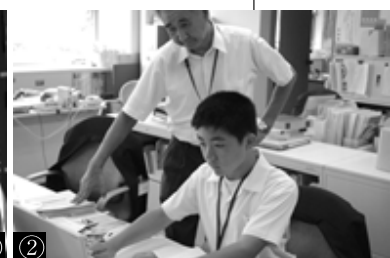
あなたの地区の楽しい催しや出来事などを役場総務課まちづくり班までどしどしお知らせください。（☎22-2111 内線263）

中学生が職場を体験・鶴田中学校

9月1日（水）、2日（木）の2日間にわたり、鶴田中学校（稲場締男校長）1学年134人が、町内のさまざまな職場に行き、実際に労働を体験する「職場体験学習」が行われました。

1日（火）の朝、指導を担当する職場の方からのお話が終わるとさっそく職場での「仕事」が始まりました。町内の商店や飲食店、スーパーや役場・消防署など職種によって仕事の内容は違いましたが、それぞれの職場で緊張しつつも生徒たちは一生懸命仕事に取り組んでいました。

体験した2日間で、生徒の皆さんは「労働」の大変さを知り、それと同時に仕事に対してのやりがいも感じていたようです。少しだけ大人に近づけた体験学習でした。



①ガソリンスタンドで洗車作業 ②パソコンで資料づくり（役場事務室）
③消防署ではレスキュー隊の降下訓練 ④救急隊の蘇生法も学びました



お山参詣で大しめ縄を奉納

9月7日（火）、山道地区の方々70人がお山参詣を行い五穀豊穡を祈願するとともに、岩木山神社神殿に「大しめ縄」を奉納しました。

宵山となるこの日、山道地区の方々が岩木山のふもとに集まり、それぞれの衣装をまとい、登山ばやしに合わせて「サイギサイギ」と祭文を唱えながら、岩木山神社を目指して練り歩きました。

今年は3年に1度の大しめ縄奉納の年となり、1か月前から地区の有志が集まって制作した全長20㍎、太さ80㍎、重さ80㍎の大しめ縄がお山参詣の行列とともに岩木山神社に運ばれました。

大しめ縄は、山道地区の方々の手によって3年前のしめ縄と取り替えられ、新しい立派な大しめ縄が岩木山神社神殿に取り付けられました。



- ・写真上／奉納する大しめ縄の前に参加者一堂で記念撮影
- ・写真右／男8人で大しめ縄を担ぎ神社前に到着
- ・写真左／足場を組んで神殿に取り付ける作業（内枠は完成後）

鶴遊館で更生保護女性会「秋の集い」

9月2日（木）、鶴田町保健福祉センター「鶴遊館」で青森県更生保護女性連盟（神和子会長）・鶴田町更生保護女性会（松山セツ子会長）主催の「秋の集い」が開催され、県内各市町村から更生保護に携わる関係者600人が出席して、表彰式および講演会が行われました。

表彰式では、長年にわたり更生保護活動に参加して尽力された方々に表彰状が贈られ、鶴田町からは7人の方々が表彰されました。

講演会では、鶴田町保護司で元小学校教諭の佐藤常義氏が「問題を抱える青少年へのアプローチ」の演題で、日ごろ問題を抱える子どもたちとどのように接しているかを、楽しいエピソードを交えながら講演されました。

最後に行われたアトラクションでは、鶴田小学校三味線クラブと鶴田町の三味線奏者葛西頼之さんが出演して、鶴田ならではの「秋の集い」を演出していました。



- ①開会のことばを述べる松山セツ子会長 ②青森県更生保護女性連盟から表彰を受ける鈴木愛子さん（鶴田町）③講演する佐藤常義氏 ④アトラクション・鶴田小学校三味線クラブの皆さんと葛西頼之さん（中央）